

# 中央通信

第330号  
令和3年2月16日発行  
山梨県立中央高等学校  
通信制課程

甲府市飯田五丁目6-23  
電話(055)226-4412  
<http://www.chuouh.kai.ed.jp/>

## 「塞翁が馬（さいおうがうま）」

校長 川手 正昭



あるテレビ番組で女優の芦田愛菜さんが「一番魂が震えた」と紹介した本があります。それが、「山中伸弥先生に、人生とiPS細胞について聞いてみた」という本です。芦田さんは、「他の人の何倍も努力をされているのに、その努力を楽しんでいる山中先生の姿に心を動かされた」そうです。この本では、iPS細胞の仕組みについてたいへんわかりやすく説明されていますが、それだけでなく、山中先生の半生についても紹介されており、山中先生が必ずしも「優秀な医師」であったわけではなく、むしろあまりに手術に時間がかかるため、指導医から「お前はほんまに邪魔や。ジャマナカや」と言われ続けたエピソードなども書かれています。だからこそ、山中先生は研究者としての道を選び、iPS細胞の開発に結びついたのだとも言えます。その山中先生が好きな言葉として紹介しておられるのが、「人間万事塞翁が馬」という言葉です。

「人間万事塞翁が馬」はシンプルに「塞翁が馬」ともいわれますが、もともとは中国のお話です。

国境の塞（とりで）に老人の一家が住んでいました。ある日、飼っていた馬が突然逃げ出してしまいました。近所の人々が見舞いにくると、老人は平然として「これが幸福のもとになるかもしれない」と言いました。それから何ヶ月かすると、逃げた馬が立派な馬を何頭か引き連れて戻ってきました。人々がまたやってきて「良かった良かった」と祝福すると、老人は「これが禍のもとになるかもしれない」と言いました。しばらくして、老人の息子が馬から落ちて足の骨を折ってしまいました。人々が見舞いにくると、老人はやはり「これが幸福のもとになるかもしれない」と言いました。それから1年が過ぎた頃、北方の異民族が攻めてきたので、体の丈夫な若者はみんな兵隊にとられ、多くの人が戦死てしまいました。しかし、老人の息子は足を悪くしていたので徴兵を免れ、命拾いをしたということです。つまり、この言葉の意味するところは、「人生の幸せや不幸は変化するものであり、人間の予想や思惑どおりにはならない」ということです。山中先生ご自身も、「ぼくの人生も、まさに『人間万事塞翁が馬』と思える出来事の連続です」と言っておられます。

今年は、新型コロナウイルスに振り回された1年でした。したいこともできず、大切な思い出を作ることもなかなかできませんでした。でももしかしたら、この苦しかった経験がこれから的人生に大きなプラスになるかもしれません。まさに「人間万事塞翁が馬」です。皆さん的人生に幸多からんことを祈ります。

## 「大雨の中、身延山にて日蓮を語る」

教頭 佐野 和規



通信制の今年の遠足の行先は身延山久遠寺である。私は、日本史の教員であり、仏教が好きであり、大学院でも日本仏教の歴史について学んだ。日蓮にも思い入れがある。

遠足の時、生徒保護者の前で日本史担当として解説する機会が与えられたので、久遠寺や開祖日蓮についてわかってもらうぞと意気込んでいた。しかし、私の意気込みに反して（比例して？）私の話す時間になら突然大雨が降ってきて、レジュメはぐちゃぐちゃになり、雨の中長い話もできず、急いで短く切り上げた。

生徒も保護者もこの雨の中、よくこんなに遠い久遠寺まで来てくれると思った。でも、たぶん普通なら久遠寺がどういう寺か、わからないだろう。そもそも日本人のほとんどが日蓮や法然、親鸞などの鎌倉新仏教の思想のすごさを理解していない。それは高校の授業の平板な説明のせいもある。だから、今回、私が日蓮についてきちんと説明するのだと意気込んでいた。私が意気込んだ時、物事ははいたい悪い方に行く。

それでも、日蓮があの世でなくこの世で幸せになることを説いたということだけは強調した。そばに、案内役の久遠寺のお坊さんがいるのに、その人を差し置いて自分が日蓮について説明する。まさに「シャカに説法」の気分だった。

日本の鎌倉時代は武士も登場し戦乱が相次いだ。そのような「乱れた」社会を仏教の力で救済しようと考える優秀な僧侶（お坊さん）が現れた。

日蓮は、膨大なお経の中から「妙法蓮華経」というお経が一番大事だと考えた。そして、このお経をたたえる「南無妙法蓮華経」（題目）という言葉を重視した。そして、すべての人には仏様になる力（仮性）があるので、この乱れた世においても蓮華（汚い池にきれいに花開く）のように美しく思いやりをもって生きて、この世で幸せになろうと説いた。

一方、たくさんいる仏様の中から阿弥陀仏が大切だと考えたのが法然、親鸞であり、「南無阿弥陀仏」（念佛）という言葉を重視した。特に、親鸞は阿弥陀仏を信じた瞬間救済されると言っており、その点では、日蓮と同じくこの世での救いを主張している。

「この世での救済」こそが日蓮、親鸞の共通点であるが、このことをはじめ鎌倉新仏教の思想は未だに誤解されたままである（R3 授業につづく）

## 告知板

### ◆卒業生の皆さんへ

卒業おめでとうございます。  
卒業が皆さんの大きな飛躍となることを期待します。

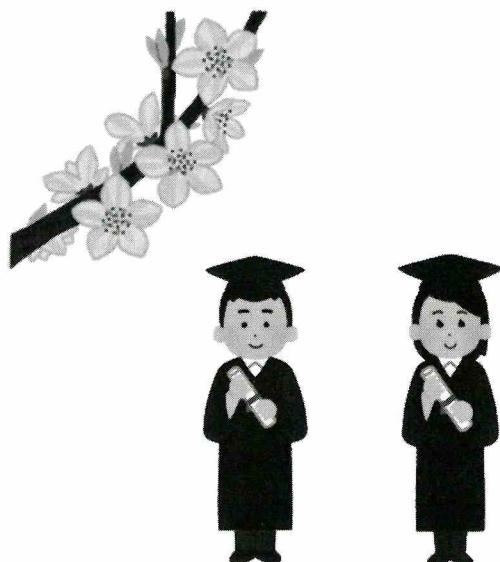
- 《卒業に関する各種証明書の発行について》
- 「卒業証明書」は、発行希望の有無にかかわらず、卒業生全員に、卒業証書と一緒に各一通渡すよう準備を進めています。
  - 3月末日までは、卒業生に関するすべての証明書が無料です。  
令和3年4月1日以降の交付はすべて有料（現在、1通400円）となります。

※4月1日以降の申請は事務室にお願いします。  
TEL 055-226-4411（事務室）

### ◆学習継続生の皆さんへ

3月下旬に書類を郵送します。よく読み、新年度の手続きについて、しっかり確認して下さい。  
また、令和2年度の生活や学習を振り返るとともに、右記の令和3年度初めの日程を確認し、新年度の予定を入れてください。

2月1日以降に住所・電話番号等を変更をした場合は、至急学校に連絡をしてください。



### 令和3年度 年度初めの日程（予定）

#### 3月末 新年度履修手続きの発送

4月10日（土）13:00～15:35  
始業式（離退任式、新任式）、合同LHR、履修手続き

「非活動生」にならないように、この日に登校し、履修手続きを完了しましょう。  
※なお、始業式にどうしても出席できない場合は、4月6日（火）～4月15日（木）15:00まで（ただし、11日（日）12日（月）を除く）に登校して、手続きを行って下さい。

4月11日（日）入学式（在校生は登校禁止）

4月18日（日）19日（月）  
LHR、対面式・認証式、授業開始  
学びの基礎診断（新入生）

4月25日（日）  
身体計測・内科検診  
進路・学習ガイダンスほか

4月26日（月）  
身体計測、進路・学習ガイダンスほか

※尿検査は25日（日）か26日（月）の予定です。後日改めて連絡します。

※年度初めは大切な手続きや検診があります。  
忙しい時期ですが、都合を付けてできるだけスクーリングに出席して下さい。  
特に4月25日（日）、26日（月）に行われる検診（内科検診は4/25のみ）の受診をお願いします。

学校で受けられなかった場合は、各自で医療機関で受診してください。